

⑧関係機関団体ネットワーク会議

日付	研修会	参加者数	日付	研修会	参加者数
11月9日	区長・民生委員・介護 予防推進員合同研修会 (千怒区・中田区・川 上区・川内区・長目 区)	37名	11月13日	区長・民生委員・介護 予防推進員合同研修会 (岩屋区、西ノ内区、 八戸区、青江区、畑 区、徳浦区)	37名
11月16日	区長・民生委員・介護 予防推進員合同研修会 (宮本区、彦ノ内区、 警固屋区、入船区、堅 浦区)	34名	11月20日	区長・民生委員・介護 予防推進員合同研修会 (無垢島区、日代全 区、四浦全区、保戸島 全区)	48名

- ボランティア協力校連絡会議（3月1日）
- 区長会・民児協意見交換会（2月5日）
- 津久見小学校区連絡会（2月2日）
- 千怒小学校区連絡会（2月12日）
- 堅徳小学校区連絡会（6月24日・10月30日・2月18日）
- 青江小学校区連絡会（6月18日・3月9日）

⑨ベンチ設置事業（共募・歳末配分）

津久見市建築士会の協力により、地  
区集会所、バス停留所にベンチを設置  
しました。

平成27年度設置台数16台  
共同募金による配分（川上区・川内区  
徳浦区・西ノ内区・堅浦区・長目区  
江ノ浦区・日見区・赤崎区）



(江ノ浦区)



(徳浦区)



(長目区)

## ⑫地域助成事業（公募による配分）

市民の皆様から寄せられた共同募金を財源に、市内の福祉団体やボランティアグループ、自治会（地区社協）等の地域団体、社会福祉法人及び特定非営利活動法人等が行う市民の福祉向上のための取り組みに、助成を行いました。

27年度助成団体

網代地区社協、警固屋区、手話サークル小鳩、長目区社協、中田地区社協

## ⑬日常生活自立支援事業（旧地域福祉権利擁護事業）

判断能力に不安のある認知症高齢者、知的障がい者または精神障がい者等で、かつ、親族等の援助が得られない方に対して、「福祉サービスの利用手続きやそれに伴う日常的な金銭管理等」を行い、在宅や施設・病院における日常生活を支援する事業です。

### <利用対象者>

判断能力に不安のある認知症高齢者、知的障がい者または精神障がい者等で、かつ、親族等の援助が得られない方

### <支援サービス内容>

- ◆福祉サービスの利用援助
- ◆福祉サービスに関する情報提供
- ◆福祉サービス利用料の支払い援助
- ◆日常的な金銭管理サービス
- ◆年金、手当などの受領確認
- ◆日常的な生活費の払い出し、預け入れ
- ◆医療費、公共料金、家賃等の支払い等
- ◆書類、通帳、保険証書、実印、銀行印等の預かりサービス

### <利用料>

①専門員による訪問相談、支援計画の作成	無 料
②契約後の生活支援員による援助 ・福祉サービスの利用のお手伝い ・日常生活に必要な手続きのお手伝い ・日常のお金の出し入れのお手伝い	1回あたり1,330円
③大切な書類などのお預かり	1カ月あたり500円

### <申込方法>

津久見市社会福祉協議会に備えてある利用申込書により申請していただきます。  
事前にご本人と面会し、専門員が相談調査を行います。

<例えば> 通帳や印鑑の紛失や、家賃や新聞代の支払いを忘れてしまうことが多くなり、遠くに住む家族も心配になっていたAさん（ひとり暮らし高齢者）の場合。あんしんサポートセンターの生活支援員が、月に2回の訪問（回数は利用者ごとに話をして決定）をする中で、家賃や新聞代の支払い、生活費の支払いを支援して月々の滞納をなくし、通帳や印鑑については、あんしんサポートセンター内の金庫にて保管することで紛失を防ぐこととなった。

相談、契約の状況							相談内容
利用者区分	相談件数			契約件数			
	H25	H26	H27	H25	H26	H27	
認知症高齢者	7	4	2	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日常の金銭管理</li> <li>• 福祉サービスの利用について</li> <li>• 今後の生活設計等について</li> <li>• 事業についての内容照会</li> </ul>
知的障がい者	2	2	1	2	1	0	
精神障がい者	6	0	1	2	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	
計	15	6	4	5	2	0	

\*平成27年度末契約件数：8件

(認知症4件、知的障がい者5件、精神障がい者1件、内2件解約)

\*平成27年度相談を受けた4名のうち2名は、28年4月に契約。

#### ⑭生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付制度は、他の貸付制度が利用できない所得の低い世帯、障がい者や高齢者世帯に対して、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、資金の貸付と必要な相談支援を行う事業です。

##### <貸付対象者>

- ◆ 低所得世帯  
世帯の収入が本事業の収入基準を超えない世帯
- ◆ 障がい者世帯  
身体・知的・精神等の障害者手帳の交付を受けた方の属する世帯
- ◆ 高齢者世帯  
日常生活上、療養または介護を必要とする、おおむね65歳以上の高齢者が属し、その収入が本事業の収入基準を超えない世帯

##### <貸付金の種類>

- ◆ 福祉資金  
低所得者、障がい者又は高齢者の世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことで、経済的自立及び在宅福祉、社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。
- ◆ 教育支援資金  
低所得者世帯を対象に、学校教育法に規定する高校、短大、大学、高等専門学校に就学するために必要な経費を無利子で貸付する制度です。
- ◆ 総合支援資金  
失業や減収により生計維持が困難になり、生活再建のための継続的な相談支援を必要とする世帯に対して資金を貸し付ける事で世帯の自立を支援する制度です。(原則、生活困窮者自立支援窓口での相談が必要です。)
- ◆ 緊急小口資金  
傷病、賃金の未払い等の原因により、一時的に著しい生活困窮に陥ったときに貸付する制度です。
- ◆ 不動産担保型生活資金  
住み慣れた我が家でお老後を送れるように、所有しているお住まいの土地・建物を担保として生活資金を貸付する制度です。(土地評価額1000万円以上)

##### <貸付決定>

貸付は、大分県社会福祉協議会が審査を行います。審査結果によっては、資金の貸付ができない場合があります。

相談件数			相談内容
平成25年度	平成26年度	平成27年度	緊急小口資金・教育支援資金・総合支援資金など
33件	56件	64件	

資金種別	貸付件数		
	H25	H26	H27
教育支援資金	0件	0件	0件
福祉資金（福祉）	6件	2件	1件
福祉資金（小口）	6件	3件	4件
総合支援資金	0件	0件	0件
計	12件	5件	5件

H27償還完了等件数	
種別	件数
償還完了	10件
償還免除	0件
延滞利子免除	1件



○貸付の累計件数（本年度契約分含む）

資金種別		累計件数
福祉資金	福祉費	12件
	緊急小口資金	13件
教育支援資金		8件
総合支援資金		4件
離職者支援資金		1件
計		38件

#### 4. ボランティア活動の推進

ボランティアの登録及び支援事業：個人51名、グループ 22団体（483名）

グループ名	活動内容
・手話サークル「小鳩」	聴覚障がい者の手話通訳や交流活動
・ボランティアグループ「ふれあい」	施設での利用者の介助や行事介助等
・ボランティアグループ「のぎくの会」	各種イベント等の手伝い・福祉施設での作業手伝い等
・収集ボランティア「鈴の会」	古切手や使用済みテレホンカードなどを中心に収集し障がい者団体等に送付
・ボランティアグループ「ふれあい電話」	一人暮らし高齢者に対し、電話による安否確認
・ボランティアグループ「あけぼの会」	視覚障がい者の支援活動や交流活動
・図書館ボランティア「たんぼぼ」	図書館での朗読奉仕（子どもへの本の読み聞かせ）
・環境保全ボランティア「子ねずみ」	市内の海岸線、国道沿線、公園等の清掃活動
・修繕ボランティア	高齢者・障がい者世帯に訪問し、家屋の簡易補修
・つくみ環境美化グループ	市内の公園や周辺の植樹・緑化活動、清掃活動
・食生活改善推進協議会	食生活の改善指導等
・ボランティアグループ「りんり」	公園やイベント会場の清掃活動
・健康体操「歩み」	体操や社交ダンス等を通じて健康を広める

・くすの木サークルパパーズ	小学校の児童のために、環境整備の手伝い（津小）
・くすの木サークルマザーグース	小学生に本の読み聞かせを行う（津小）
・おたすけ会	保戸島地区の高齢者・病人の通院、入院介助
・白百合の会	観光ガイド・文化の伝承
・地域女性団体連合会	イベント運営支援など
・ボランティアグループ たちばな会	施設等訪問（演芸披露）
・たけの子の会	小学校の書写時に硬筆・毛筆の指導
・津久見高校	施設等での交流ボランティア
・友情の会	唄・踊りなどでふれあい交流

（個人登録）

・服のリフォーム（2名）	高齢者や障がい者の服のリフォームを行う
・音訳ボランティア（8名）	市報や社協だよりをテープに音訳編集し、視覚障がい者世帯に郵送
・夏のボランティア体験月間（15名）	夏休みのボランティア体験月間をきっかけに登録
・出前講師個人登録（18名）	自分の技能・技術・資格を生かし講師登録
・出前講師団体登録（10団体）	団体として、講師登録
・その他（6名）	自分の出来る時間に活動

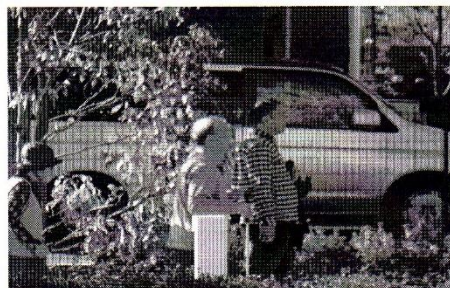
②ボランティアの斡旋状況：ボランティアを必要とする方への派遣を行いました。

平成27年度斡旋実績：年51回 内訳

（修繕8件、出前講師36件、講師派遣2件、服のリフォーム0件、施設2件、イベント3件）



（たけの子の会・紫の会）



（あけぼの会）



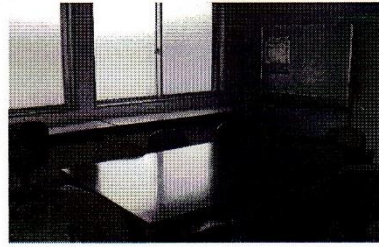
（手話サークル小鳩）



（のぎくの会）

③ボランティアコーディネーターの設置

ボランティアコーディネーターを設置し、ボランティアに関する調査、育成・発掘、情報収集と発信を柱として運営を行いました。



○ボランティア活動に関する相談件数

相談内容	相談件数		
	平成25年度	平成26年度	平成27年度
登録に関する事	4件	8件	4件
派遣に関する事	20件	34件	44件
活動に関する事	56件	62件	76件
個人・団体等の支援及び意見交換	69件	69件	79件
情報提供・発信に関する事	74件	75件	68件
連絡協議会に関する事	47件	53件	58件
その他相談件数	2件	12件	37件
計	272件	313件	366件

④ボランティア協力校関係

ボランティア協力校とは、学校関係者と社会福祉関係者及び地域住民が協力し合って計画的・系統的に子ども達にボランティア活動の場や世代間交流の機会を提供し、その実践体験を通して「優しさ」「いたわり」「行動する勇気」と「自主性」を養い、社会奉仕と社会連帯の豊かな心をもつ人間として育てることを目的として創設された事業です。

27年度の活動校：市社協指定9校

H27年度 ボランティア協力校活動実績

	津久見小学校	青江小学校	堅徳小学校
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉体験学習</li> <li>555クリーン作戦</li> <li>地域の方々との交流事業</li> <li>一人一鉢花育て運動</li> <li>その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉体験学習</li> <li>地域清掃活動</li> <li>ペットボトル回収</li> <li>うばめ園、青葉会との交流</li> <li>その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉体験学習</li> <li>地域の方々との交流事業</li> <li>施設イベントの手伝い</li> <li>その他</li> </ul>
		千怒小学校	保戸島小学校
	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉体験学習</li> <li>一人一鉢花育て運動</li> <li>地域清掃活動</li> <li>地域の方々との交流事業</li> <li>その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方々と餅つき等</li> <li>地域清掃活動</li> <li>施設での交流事業</li> <li>その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域清掃活動</li> <li>あいさつ運動</li> <li>花いっぱい運動</li> <li>歳末たすけあい募金活動</li> <li>その他</li> </ul>

	第二中学校	保戸島中学校	津久見高校
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャリティーショー協力</li> <li>・地域清掃活動</li> <li>・災害募金活動</li> <li>・ペットボトル回収</li> <li>・その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花いっぱい運動</li> <li>・地域清掃活動</li> <li>・地域の盆踊、祭り協力</li> <li>・書き損じハガキの回収</li> <li>・その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援学校との交流</li> <li>・24時間チャリティー募金への協力</li> <li>・ふるさと振興際、花火大会協力</li> <li>・防犯パトロール</li> <li>・その他</li> </ul>

## ○福祉体験学習について

(社協職員と協力校とで福祉体験学習のメニュー作りを行い取り組みました。)

### ①青江小学校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として4年生が取り組みました。

#### ● 講話・アイマスク体験 (10月15日 33名)

視覚に障がいのある長谷真司さんを講師に招いて、盲学校で過ごしていた時の様子や町の中で不便な道路の様子などの話を伺った後、アイマスクでの体験学習を行いました。



#### ● 手話学習 (10月20日 33名)

大分県聴覚障害者センターから中津留芳子さん、木原ケイ子さんを講師に招いて、交流学習会を行いました。



#### ● 車いす体験学習 (11月6日 33名)

車いすを使って福祉体験学習を行いました。

#### ● 認知症キッズサポーター養成講座 (11月13日 33名)

認知症キッズサポーター養成講座を開催しました。



#### ● 高齢者疑似体験学習 (12月26日 33名)

高齢者疑似体験学習を行いました。体に高齢者疑似体験セットの装具をつけおじいちゃん、おばあちゃんになった子どもたちは、封筒を開けてみたり、本を読んだり、さまざまな体験を行いました。



## ②堅徳小学校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として4年生と5年生が取り組みました。

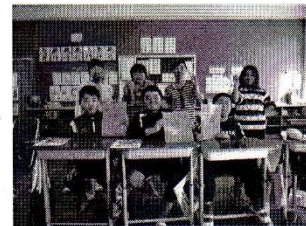
● 車いす・高齢者疑似体験（9月10日 4年生18名）

車いす・高齢者疑似体験セットを使って福祉体験を行いました。



● 認知症キッズサポーター養成講座（10月9日 4年生18名）

認知症キッズサポーター養成講座を開催しました。



● 絵手紙教室・車いす体験学習（10月30日 4年生18名）

車いすで生活をしている原野彰子さんを講師に招いて絵手紙体験教室を行いました。



● 講話（11月12日 18名）

視覚に障がいのある麻生恒雄さんを講師に招き、パラリンピックに出場した時の話や今楽しんでいるグランドソフトボールの話、ユニバーサルデザインなどの話を聞きました。



● 高齢者疑似体験学習（11月20日 5年生7名）

高齢者疑似体験学習を行いました。



● 認知症キッズサポーター養成講座（11月30日 5年生7名）

認知症キッズサポーター養成講座を開催しました。



### ③津久見小学校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として5年生と児童クラブが取り組みました。

● 車いす・高齢者疑似体験（8月21日34名）

車いすとアイマスクを使って福祉体験学習を行いました。



● 障がいについて（2月22日 44名）

サポートセンター竹とんぼの相談員より、「障がいについて」の説明があり、障がいについての理解を深めました。



● 車いすバスケットボール連盟の方々と交流（3月2日 44名と保護者）

車いすバスケットの選手たちと交流会を行いました。事前に準備した質問に選手たちが答えてくれた後、車いすバスケットの体験を行いました。



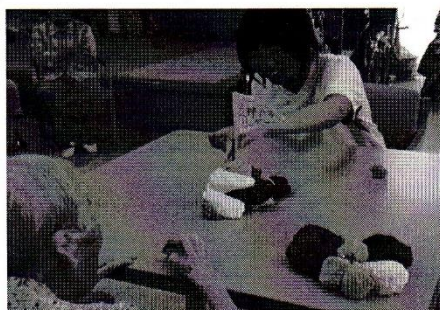
### ⑤夏のボランティア体験学習

夏休みを利用した、ボランティアな福祉活動を体験することにより、自分たちが住む地域社会の現状やその中で行われる福祉活動に対する理解と、ボランティア活動への積極的な参加を促進するものです。

平成27年度実績：16施設において18名の小学生・高校生・専門学校生・一般の方々がボランティア体験を行いました。（26年度は10名参加）



（じゃん・けん・ぽんにて）



（介護施設にて）

## 5. 津久見市よりの受託事業

### ①地域包括支援センター社協

地域における高齢者総合相談・支援、介護予防マネジメント、包括的組織的マネジメントを担う機関として事業の充実に努めました。

※包括支援センターの実績は別紙にて

### ②障がい者の相談窓口

障がい者指定相談事業所サポートセンター竹とんぼとして、障がい者や家族、介護者等からの相談に対し、必要な情報提供やサービスの利用援助等を行いました。

※竹とんぼの実績は別紙にて

### ③寝具類洗濯乾燥消毒サービス事業

ひとり暮らし及び高齢者のみの世帯並びに身体障がい者で障がい、傷病等の理由により寝具類の衛生管理が困難な方に対して、年間2回のサービスを行いました。

実績

年 度	利用者	延回数
平成24年度	6名	10回
平成25年度	3名	6回
平成26年度	2名	4回
平成27年度	2名	3回

### ④生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の活動推進

#### ◆生活支援コーディネーター設置の背景

介護保険制度の見直しの中で、国は増加する介護に関する予算を少しでも削減するという狙いで、介護保険制度の見直しを行いました。その見直しの中で、新たに制度設けた仕組みの一つが、この生活支援コーディネーターの設置ということです。高齢者が、健康で地域で生活するためにはいろいろな課題の改善が必要となります。日常生活維持に必要な買い物や掃除・外出支援、高齢者が生きがいをもって参加できる活動がまで以上に必要となり、お互いに支え合う多様な支え合いの活動の充実が不可欠となります。このような、高齢者が抱える課題をすこしでも解決する仕組みづくりを行政関係と協力して整備することを目的として、生活支援コーディネーターの設置が行われま

#### ◆生活支援コーディネーターの役割

役 割	①地域ニーズと資源の状況の見える化、問題・課題等の提起 ②多様な主体への協力依頼（働きかけ） ③関係者とのネットワーク化の推進 （連携の体制づくり、情報共有等） ④生活支援の担い手の養成、地域に不足するサービスの開発 ⑤地域の支援ニーズ（課題）とサービス提供主体とのマッチング
-----	---



生活支援コーディネーターの役割としてもとめられている事は、津久見市社協がこれまで取り組んできた地域支援と同様のもであります。具体的には、下記の①～④のとおりです。

津久見市社協  
の取り組み

- ①地域ニーズと資源の状況の見える化、問題・課題等の提起  
➡ アンケートや地区懇談会・関係機関との意見交換による課題の把握や情報共有を行います。（地区社協・民児協・区長会・福祉施設等）
- ②多様な主体への協力依頼（働きかけ）  
➡ NPO・福祉関係施設事業所・共同組合・福祉団体・地域組織等に高齢者への介護予防・生活支援サービス（見守り、家事援助、配食、集いの場の運営等）の実施を依頼します。
- ③関係者とのネットワーク化の推進  
➡ 津久見市社協が現在ネットワーク会議として立ち上げているもの（福祉施設事業所連絡会・ボランティア協力校連絡会等）をベースに、ボランティア組織、民生委員、地区社協、NPO、福祉施設などの連携組織（協議体等）をつくり、地域課題や資源情報の共有を行います。
- ④生活支援の担い手の養成、地域に不足するサービスの開発  
➡ 地域での支え合い活動の必要性を共有する地区懇談会等を開催し、理解者・協力者を増やしていきます。また、地域に不足するサービスを把握し、上記の協議体の中で議論しながらサービス開発につなげます。

配置状況

地域班5名で担当

○生活支援コーディネーター事業受託し、今まで社協が取り組んできた活動をより深めるために、高齢者の個々に抱える課題の把握と地域の社会資源の把握に努めました。

27年度の  
取り組み

- 高齢者の生活課題把握と分析、市内社会資源の把握
  - ①地区懇談会による課題把握
  - ②市内要支援1・2の方のサービスプラン分析（課題把握）
  - ③社会資源の把握（サロンマップ・体操教室の把握）

## 6. 在宅福祉サービス事業

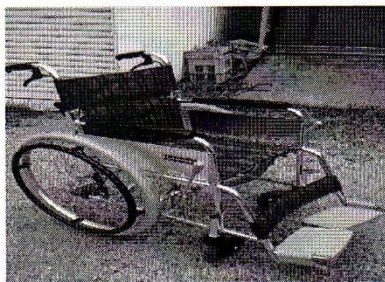
### ①福祉機器の貸出事業

#### ○貸出し状況

福祉機器名	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
電動ベット	10	5	11	8	6	3
車イス	72	81	72	61	41	50
ポータブルトイレ	8	11	12	6	7	15
ベットマット	0	0	0	0	0	0
介助バー・入浴グリップ	0	0	0	0	1	0
手押し車	0	0	1	0	0	0
エアーマット	0	1	0	在庫なし	在庫なし	在庫なし
バスボード	0	0	0	1	0	0
シャワーチェア	0	0	2	1	3	0
ベット柵	0	0	0	0	0	0
歩行器	0	0	2	2	1	4
松葉杖・杖	1	2	2	1	1	0
セニアカー（無償譲渡）	0	0	0	0	0	0
簡易浴槽	0	0	0	0	1	0

#### <例えばのケース>

- (1)施設や病院に入所や入院をしており、一時的に在宅へ戻る場合
- (2)介護保険を利用中であるが、旅行に行くため一週間のみ車椅子を借りたい。
- (3)介護保険を申請したが、認定結果が出るまでの間、ベットを借りたい。



(車イス)



(ポータブルトイレ)

### ②訪問理美容サービス

在宅で寝たきりの高齢者や障がい者に対して、理美容師を派遣して整髪を行いました。  
 ※社協より、理美容師に出張料を支払い、利用者は理美容の店内料金を理美容師に支払います。



	実利用者数	延べ利用回数
平成24年度	4名	16回
平成25年度	4名	13回
平成26年度	5名	10回
平成27年度	4名	10回

### ③ふれあい電話

ボランティアにより、一人暮らしの高齢者世帯へ、月2回電話による安否確認の声かけを行いました。（電話は社協より利用者宅へ行きます。）

平成27年度の利用者は9名  
（平成26年度 9名）



## 7. 啓蒙啓発活動

- ①広報紙「たちばな」発行：4回発行
- ②ホームページ・フェイスブックの運用
- ③市社会福祉大会の開催：式典・体験発表・講演会

## 8. 共同募金活動の推進

### ①共同募金運動

県共同募金会の支会として、募金活動を行いました。

平成27年度実績	3,849,114円
戸別募金	3,135,500円
法人募金	249,000円
職域募金（ボールペン）	400,400円
職域募金（バッチ）	8,260円
グルメ散歩募金	19,240円
自販機募金	19,394円
その他募金	17,134円
預金利息	186円



### ②歳末たすけあい募金運動

平成27年度実績	
	3,166,321円
内チャリティーショー収益	
	1,092,147円

